

Safety Data Sheet (SDS)

1. 製品名及び会社情報

製品名：いつもの強力液体洗剤

会社：株式会社サンワ

住所：〒166-0003 東京都江東区牡丹 2-12-4

電話：03-3642-1255 FAX：03-3642-5766

製品種類：洗剤

製品用途：洗濯用洗剤

2. 危険有害性の要約

GHS分類

< 物理化学的危険性 >

- ・ 引火性液体 : 区分外
- ・ 自然発火性液体 : 区分外
- ・ 酸化性液体 : 区分外

< 健康に対する有害性 >

- ・ 急性毒性（経口） : 区分外
- ・ 急性毒性（経皮） : 分類できない
- ・ 急性毒性（吸入：ミスト） : 分類できない
- ・ 皮膚腐食性／刺激性 : 区分 3
- ・ 眼に対する重篤な損傷／眼刺激性 : 区分 2

* 上記に記載のない危険有害性は、分類対象外か分類できないことを示す。

GHSラベル要素

< 絵表示またはシンボル >



< 注意喚起語 > : 警告

< 危険有害性情報 > : 眼刺激

注意書き

< 安全対策 > : すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。
環境への放出は避けること。

< 応急措置 > : 眼に入った場合：上下のまぶたを開き、15分以上大量の流水で
眼球の隅々まで行き渡るように洗う。
不快感が続く場合は、医者への診察を受ける。
皮膚についた場合：石けんと水で洗い流す。衣服に付着した場
合は脱いで洗ってください。

Safety Data Sheet (SDS)

不快感が続く場合は、医師の診察を受ける。

摂取した場合：大量の水を飲んで直ちに医師の診察を受ける。

吸入した場合：外気の新鮮な空気を吸って下さい。

不快感が続く場合は、医師の診察を受ける

<保管>

: 直射日光、高温、火気、凍結のおそれのある場所を避けて保管すること。

液が漏出しないように使用後は必ず密封して保管すること。

<廃棄>

: 廃棄物の処理及び清掃に関する法律および関係する法規に従って処理するか、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託処理すること。

3.組成、成分情報 (化学物質・混合物の区別)

成分名/化学名	濃度・濃度範囲 (%)	CAS 番号	官報公示整理番号	
			化審法	安衛法
非イオン界面活性剤	1~5%	非公開	非該当	非該当
直鎖アルキルベンゼン ンスルホン酸塩	1~5%	25155-30-0	(3) -1949	

***640 物質には該当しません**

環境ホルモン疑義物質	原料として使用していません
化学物質管理促進法(PRTR 法)規制該当物質	第一種 第30号に該当
シックハウス・シックスクール配慮 (VOC)	厚生労働省指針値該当13物質成分原料を含まない
改正建築基準法における建築内装材の企画	当該法律の建築材料に該当しません
学校環境衛生基準該当物質	原料として使用していません

4.応急処置

<吸入した場合>

: 多量に等吸引した場合は、直ちに新鮮な空気のところへ移し保温しながら安静にする。呼吸が困難な場合にはネクタイ・ベルト・ウエストバンド等の衣類の締め付けを緩めて人工呼吸を行い、異常を感じる場合や気分が回復しない場合には医師の診断を受けること。

<皮膚に付着した場合>

: 皮膚に付着した場合は、清浄な流水を使って洗い流す。刺激が残る場合は医師の診断を受けること。

<目に入った場合>

: 目に入った場合は、直ちに清浄な流水で少なくとも15分間以上洗眼する。洗眼の際、コンタクトレンズを着用していて容易にはずせる場合ははずし、瞼を指で良く開いて眼球、瞼の隅々まで水が行き渡るようにする。刺激等の異常が残る場合には直ちに医師の診断を受けること。

<飲み込んだ場合>

: 飲み込んだ場合は、直ちに口をゆすぐ。異常を感じる場合には医

いつもの強力液体洗剤

Safety Data Sheet (SDS)

師の診断を受けること。

5.火災時の措置

- <適切な消火剤> : この製品自体は燃焼しない、周辺火災に応じた消火剤を使用
- <使ってはならない消火剤> : 特になし
- <特有の危険有害性> : 火災によって有害なガスを発生する恐れがある
- <特有の消火方法> : 危険でなければ充填容器を安全な場所に移す。
- <消火を行う者の保護> : 保護手袋、保護眼鏡、保護マスク、保護衣等の適切な保護具を着用する。

6.漏出時の処置

- <人体に対する注意事項> : 漏出した場所にはロープを張るなどして人の立ち入りを禁止し、作業の際は、適切な保護具を着用して身体との接触を避ける。密閉された場所に立ち入る前には換気する。
- <環境に対する注意事項> : 漏洩物が河川などに排出され、環境へ影響を起ささないように注意する。水で洗い流す場合は、汚染された排水が適切に処理されずに環境に流出しないように注意する。
- <中和などの浄化の方法及び機材> : 漏洩した液は、おがくず、土砂、紙などに吸収させ、空容器に回収する。漏出区域周辺は多量の水で洗い流す。

7.取扱い及び保管上の注意

- <取扱い上の注意事項> 取扱いは、換気の良い場所で行いミストなどの吸入を避ける。
取扱い時は、保護眼鏡、保護手袋等の適切な保護具を着用する。
取扱い後は、手洗い、うがい及び洗顔を行い、作業衣等に付着している場合には着替える。
漏れや飛散を防ぐために、取扱いの都度、容器を密閉する。
容器を転倒、落下させる等の衝撃を加える乱暴な取扱をしてはならない。
- <保管上の注意事項> : 直射日光、高温、火気、凍結のおそれのある場所を避けて保管すること。
液が漏出しないように使用後は必ず密封して保管すること。

8.暴露防止及び保護処置

ばく露防止

- <管理濃度> : 未設定
- <生物学的指標等の許容濃度> : 設定されていない
設定されていない

Safety Data Sheet (SDS)

<ばく露を軽減するための設備対策> : 設定されていない

保護措置

<適切な保護具> : 眼の保護には保護眼鏡、皮膚の保護にはゴム手袋や保護前掛け、呼吸器の保護には保護マスクを使用する。

9.物理的及び化学的性質

<化学品の外観> : 青色透明な液体
<臭い> : リッチブーケの香り
<凝固点、沸点、初留点及び沸騰範囲> : データなし
<引火点、自然発火温度> : なし (不燃性)
<燃焼又は爆発範囲の上限、下限> : データなし
<蒸気圧、蒸気密度> : データなし
<比重 (相対密度)> : 1.01 (25°C)
<溶解度 (溶解性)> : 水とどんな割合でも混合
<pH> : 10.2±0.5
<酸化性> : なし
<VOC> : 0 g/l

10.安定性及び反応性

<安定性> : 通常の手扱い条件においては反応をおこす恐れはない
<危険有害反応可能性> : データなし
<避けるべき条件> : 酸性物質との接触、直射日光、高温 (40°C以上) 凍結、開放状態
<混触危険物質> : 特になし
<危険有害な分解生成物> : 特になし

11.有害性情報

<混合物>

急性毒性 経口 区分外
経皮 データ不足のため分類できない
吸入 (ガス) 分類対象外
吸入 (蒸気) データ不足のため分類できない
飲み込むと有害のおそれ
皮膚刺激性 データ不足のため分類できない
眼刺激性 pH10.2(±0.5) のため区分2とした
呼吸器感作性 : データ不足のため分類できない
特定標的臓器毒性 : データ不足のため分類できない

Safety Data Sheet (SDS)

12.環境影響情報

生態毒性

水生毒性データ不足のため分類できない

水生毒性データ不足のため分類できない

13.廃棄上の注意

<安全で環境上望ましい廃棄の方法> : 廃棄物は、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託して処理する。

<容器・包装の適正な処理方法> : 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去した後、認可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約して処理する。

容器などを洗浄した排水はそのまま流さず、廃棄物の処理及び清掃に関する法律および関係する法規に従って処理を行うか、専門の業者に委託する。

14.輸送上の注意

国際規制

<国連番号> : 非該当
<品名> : 非該当
<危険物クラス> : 非該当
<容器等級> : 非該当
<緊急時応急措置指針番号> : 非該当

国内規制

<陸上輸送> : 特段の規制なし
<海上輸送> : 特段の規制なし
<航空輸送> : 特段の規制なし

15.適用法令

<消防法> : 非該当
<化学物質排出把握管理促進法> : 非該当
<毒物及び劇物取締法> : 非該当
<化学物質管理促進法 PRTR 法> : 第一種指定化学物質 第 30 号 (直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩)
<労働安全衛生法> : (640 物質非該当)

16.その他の情報

いつもの強力液体洗剤

Safety Data Sheet (SDS)

- <引用文献> : GHS対応による混合物（化学物質）のMSDS作成法の研修テキスト 中央労働災害防止協会
16615の化学商品 化学工業日報社 2015年版
原料の製品安全データシート 各原料メーカー
GHS分類対象物質一覧 (独) 製品評価技術基盤機構
GHS対応モデルラベル・モデルSDS情報 厚生労働省
国際化学物質安全性カード (ICSC) 日本語版
- <作成年月日、改定情報> : 2017年1月23日作成
- <その他> : この情報は新しい知見により改訂されることがありますのでご了承ください。ここに記載された情報は、当社で調査できる範囲での情報であり、情報の完全さ、情報の正確さを保証するものではありません。化学品には予見できない有害性がありうるため取扱いには細心の注意を払ってください。本品の適正な使用については、使用者の責任において行ってください。

2017年1月